

(3) 第9回 京都府私立中学高等学校教育研究大会 情報科分科会 (秋期研究会)

日時：2010年10月24日(日) 13時15分～16時15分

場所：京都外大西高等学校 大学1号館4階141教室

参加者：22名

研究目標：「情報の科学的な理解をはぐくむ情報科教育」

内容：「コンピュータを使わない情報教育 アンプラグドコンピュータサイエンス」

監訳者 兼宗進氏による講演と質疑。情報に関する科学的な見方や考え方を養うための手法を様々な授業実践から学ぶ

○開会挨拶 情報科研究会委員長 野口先生

○講演：講師：大阪電気通信大学 兼宗進先生

「情報の科学的な理解をはぐくむ情報科教育。コンピュータサイエンスアンプラグドとドリトル」

1. 自己紹介 (兼宗進先生の紹介と研究室メンバーの紹介)

間辺先生 (神奈川県立秦野高校教諭)

学部3・4年生 (コンピュータ教育を研究中)

ビーバーコンテスト欧州を中心に行っている小中高向けの情報科学コンテスト

情報オリンピック日本委員会→今年から実施

2. 高校までの情報教育への期待

1) できる (リテラシ)

2) 社会への影響 (社会)

3) コンピュータとネットワークの仕組み (科学)

4) コンピュータでの利用を理解させる

自分で発見することでテーマが記憶に残る

ものごとの仕組みは好奇心の源泉で「そうだったのか!」という喜びから。情報科の役割は大きい。

座学と作業の生徒の反応の違い

生徒にソフトというのはこういうことだ!ということを教えるためのドリトル

仕組みについて知るために・・・

3. ドリトル言語

・初心者が楽しくプログラムを書ける

・中身は本格的なオブジェクト指向言語

・高校では、1時間で学ぶソフトウェアの仕組みが効果的!

オンライン版ドリトルの紹介

生徒の反応あり、生徒の中には、プログラムの失敗もある

対話的な授業

高校生では、もう少し難しくプログラムを書く。(生徒の反応や先生からの反響は、ブログに記入)

4 CS アンプラグドとは

- ・コンピュータ科学を楽しく学ぶ教育手法で、ニュージーランドの Tim Bell 博士たちが提唱。
- ・体験させて、生徒たちに発見してもらう
- ・翻訳内容は12章で、小学校3年生から学べる内容
- ・とにかく体験！

5. 間辺先生の実験（パリティビットの実習）

手品の実践。

2色のプレートを使ったものを使用。25面あり、シャッフルしてもらう。

先生が面を増やして難しくする。生徒役がその中の1枚をひっくりかえし、先生が裏返したものを当てる。

この実験を授業で行っている。

2回~3回をくりかえると、謎が分かる生徒がでてくる。ある程度わかったところで種明かしをする。

6 アンプラグドを使った授業の流れ

バーコードを使った説明

CD・DVDの説明

ビットについての説明

7 アンプラグドの利用状況（国内）

8 教科書の状況

9. 実習

○作業0 エラー検出

○作業1 2進数について5人出してもらって、作業をしてもらう。

1列に並ぶ「1・2・4・8・16」をひっくり返して作業をする
最初は全員うら。上記数字をつかかって対応する番号を表示させる。

5枚のカードで作れる最大の数は？→31

一番小さい数は？→0（高校生は1と答える生徒がいる）

何通りの数をつくることができる？

全部の数はつくれる？

2種類できることはある？

1から31と規則性についての話

次に指で作業ができる。片手（31）・両手（1024）

5ビットあれば作業ができる

○作業2 グループに分かれたワーク

10. まとめ

間辺先生が実際に取り組んでいる様子を紹介。

生徒たちをひきつける

コンピュータを使わないかわりにグッズを用意している。

大阪の高校での集中講義の様子

富士通のイベントや授業

学習は通信（相手）がいることでより効果的。通信のしくみについて。

みかんゲーム、宝探しなど通常の授業とはかなり違うことをしているので大変であるが一度準備をそろえておくと、後は楽！

生徒が発見、気づくことが大事！

先生が教えてしまわないこと！

1 1. 国内の状況

アンプラグドは高校の情報のために作られたものではない。どの部分で使うかノウハウを共有することが大事！

- ・「アンプラグド」のユーザーコミュニティ
- ・教員会議室へメール kanemune@acm.org

1 2. 世界の状況

csunplugged で検索すると youtube で映像を見ることができる！

<質疑応答など>

- ・2進数を5ビットで教えていたが、8ビットですると大変？
⇒生徒がくじけない程度として、5ビットを選択している。
- ・情報Bでドリトルを使った。学会誌で知った。生徒はとても楽しんでやっていた。
- ・プログラムでアルゴリズムをうまく教える方法 ⇒どの言語で書いても大変
生徒は、
 - ・長い時間をかければできるが、大変である。達成感があまりない。
 - ・ワンクリックでできるものには感動する！
 - ・天秤などの体験をすることで、アルゴリズムの内容を理解できる。

○実践報告

テーマ：ドリトルを利用したプログラム体験

講師：龍谷大学付属平安高校 増田先生

1. 受講対象生徒：高校3年生文系クラス 選択科目
他の選択科目をとりたくない
好みの先生が担当する（予想）
好成绩がとれる（イメージ）
2. 年間授業内容
ネームシール作成。合成写真。midi作成。HP作成。アフレコ。フラッシュ。ドリトル。
3. ドリトル

プログラムとはどんなものかを体験し、学ぶ
練習①~⑤と発展問題

★生徒の反応

日本語での命令文入力ではあったが、難しいイメージ

★よくあるミスとフォローについて

プリントに書き方が書いてあるので、そのまま打てばできるが、入力にミスなどがあってうまく動かない生徒がいた。まわりと相談する。

困った点や無気力生徒への対応について。

ヒントの内容・量について。

直接答えをいうのではなく、ヒントも小出しに・・・

★成績評価

ドリトルに関しては、ほとんどの生徒が完成。

わからない部分はわかる生徒がフォロー。

全員がほぼ同じ成績

ゲームの課題：いろいろな生徒の作品の紹介。

40作品中7~8作品のみが完成に近い作品となった。

同時開講の授業なので、進度に差がでた。

正しくプログラミングをしないと、正しく動かないということを教えることができた。

生徒は、不完全燃焼で終わってしまった。教員側でもう少し準備が必要？

4. 今後の課題

・プログラミング

・成果物の評価：段階ごとに評価をする。

動かなかったことのフォロー。生徒と教員との興味の違い。生徒が好きな内容のリサーチが必要

・エクセルでも・・・

<質疑応答>

Q1. プログラミングについての各校の様子

A1.

ある程度のサンプルが必要だが、サンプルを写すだけで、内容を理解していないために応用がきかない。

タイピングの速度によって速度の違い。エラーを見つけるだけで1時間かかる人がある。

できた人から問題を渡す。

見きれない場合があるが、隣の人と見せ合ったり、教えあったりしている。

細かいスパンで確認作業をしている。生徒同士のフォロー。

サンプルの間違ひのある程度は把握しているが、何度も見直すことが重要

A1.

キーを見なくても打てるように、キーに箱をかぶせる。練習を重ねれば、全員が打てるようになって

た。打つことに恐怖感がなくなる。

ノートにプログラムを書かせる。プログラムを配布すると、あらかじめ写してしまう生徒がいる。

A1.間辺先生

ドリトルの授業を行っているが、あえてエラーを出す。

プログラミングをするには言語・アルゴリズムも全部知っている必要があるがエラーを出させることも体験する必要があるのでは。

プリントを渡すタイミング

ネタをたくさん用意。ひとつでもできたら達成感。

チャレンジがたくさんできるようなものを作っておく。

Q2.発展5時間ほど使っていた、練習1~5までは何時間使った？

A2.全部で3時間程度

Q3.補習などはしていた？

A3.評価ができない人、欠席などの人に対してのみ。

Q4.TTで35人を見るのはどうか？

Q4.個人的には難しいが、なんとかやらないといけない・・・

★学生さんの意見

実践授業について：必要なコマンドがあればもっとピンポンゲームがうまくいったかも。

1時間分は流してやってみたが、作ってみたり、細かい作業が短かった部分もある。

★兼宗先生の意見

実践を見て：先生はすべて答えをしっている。みんなに考えさせる授業にするのはどうか。大学でもプログラムの授業は難しい。

アンブラグド的なことをしているので、うまくいっているのでは。

→考えるしかけを作る。毎回成功体験を与えて、次に進めるスモールステップが必要！

→つまり点をもう少し細かく教えること、みんなで共有することがよいかも！

○閉会挨拶 情報科研究会委員長 野口先生

生徒に考えさせる授業が必要。アンブラグド、生徒に体験させることが重要！

議事内容：

司会（山本） ※敬称略

1. 開会挨拶 野口（龍谷大学附属平安中学高等学校）
2. 講演 兼宗進（大阪電気通信大学）
3. 講演の質疑
4. 休憩
5. 実践報告 増田（立命館中学校・高等学校）
6. フリーディスカッション
7. 閉会挨拶 野口（龍谷大学附属平安中学高等学校）

□実践報告 『ドリトルを利用したプログラミング体験』



龍谷大学附属平安中学高等学校 増田純一

<報告内容>

- ・受講生徒像
- ・年間の授業内容
- ・ドリトルを利用した授業の内容と様子
- ・生徒作品の紹介
- ・まとめ
 パワーポイント使用・生徒作品など
 配布資料 4 枚

<科目・授業対象>

- ・「情報と表現」2単位（選択授業）
- ・クリエイトコース 文系 高校3年生

<受講生徒像>

- ・数学・英語・国語・福祉・情報と表現の5科目より選択
- ・ほかに選ぶものがない、好みの先生が担当するだろうという予想、好成绩がとりやすそうイメージなどの理由から選択する生徒が多く、積極的な姿勢の生徒は少ない。

<ドリトルを用いた理由>

プログラムとはどのようなものを体験し学ぶことをテーマとした。コンピュータがプログラムで動くことや、論理的な考え方を養うためにプログラミングをあえて授業内容に導入した。しかし、それまでの授業で、HTML タグ入力の際に拒否反応があったので日本語で入力できるドリトルを用いた。

<生徒の反応>

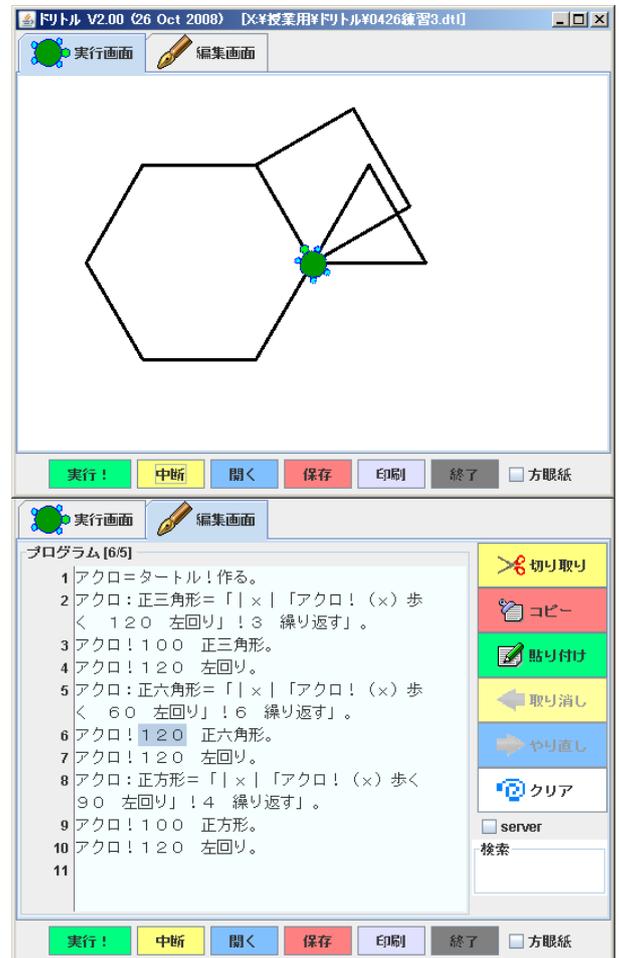
日本語での命令文入力ではあったが、「プログラミング」というイメージとキーボードでのテキスト入力という行為自体に拒否反応(操作速度が極度に落ちたりや授業態度が低下する)を起こす生徒が目立った。また、スペックの問題でPCの動きが鈍いと一気にやる気がなくなる。興味関心度を高めようとゲーム作成を最終課題に入れたがモチベーションの向上にあまり効果はなかった。

<課題作成時でのつまずきや問題点>

- ・「!」や「。」スペースが抜けるといったコーディングのミスが目立った。
- ・代入すべき適切な値を考えることができない。
- ・間違えることを嫌がり、自分で試してみる事ができない。

<授業上での困った点>

- ・無気力生徒への対応。
- ・「パソコンが嫌い」という生徒の対応。



・ヒントを出す際に考えることを促したいが、ストレートな答え以外を出すと、思考をしたくない、めんどくさい、「だるい」というように無気力になってしまう。

<今後の課題・反省点>

- ・成績をつける際、練習課題は教員が指導するので、基本的に完成しており差別化ができない。
- ・実力をはかれる課題作品が時間数不足のため、未完成作品ばかりになってしまった。
- ・完成できていないため、生徒にとって、達成感・満足感が得られていない。
- ・プログラミングがきちんとしていないとコンピュータは動かないということを理解できるとよかったが、できなかった。という結果部分しか捉えられていない。
- ・作品が完成できなくても評価できるような仕組み、内容（動かなかった原因の追及レポートなど）が必要だと感じたが、意欲のない生徒には厳しいとも思う。
- ・生徒の興味関心のあるところのリサーチがもっと必要であったように感じる。

(4) 2010年度 私立中学高等学校情報科研究会 冬期研究会

日時：2011年1月28日（金）15時40分～18時30分
場所：京都橘中学校・高等学校 2階 コンピュータ教室
参加者：34名

司会 華頂女子高等学校 酒井知果 先生

○開会挨拶 情報科研究会委員長 龍谷大学付属平安中学高等学校 野口先生

- ・年度末の忙しい中、多くの方に集まっていただき嬉しく思う。
- ・春の総会を含め今回で4回目の研究会。
- ・情報科の先生には知識・活用・芸術的なセンスなどオールラウンドの力が求められる。情報科は他教科との連携、人の生き方につながっている教科。
- ・したがって教員は自己研鑽が必要であり、このような研究会での交流が自分の領域を広げ、新しい発見につなげ、また、色々なことを学んで持ち帰っていただきたい。
- ・本研究会の流れの説明と準備運営に関わっていただいた先生方へのお礼。

○第1部 公開授業 京都橘中学校高等学校 長谷川卓也先生

情報A 1年7組

単元：表計算ソフトによるデータ分析

内容：栄養バランスのよい献立を表計算ソフトで作成する

(1) 公開授業を終えて

(2) 質疑応答、他

- ・ 難しい関数（vlookup 関数）を選んだことについて（瀧内：東山高）
（担）あえて難しいものを選んだ。手計算でできないことをしなければ意味が無い。役に立つものを利用して作業させたい。
- ・ ウィザードを利用しなかったのはなぜ。（大橋：文教高）
（担）生徒がコンピュータプログラミングを行うことはないかも知れないが、その場合にスペルミス

の発見や半角と全角の区別が必要であり、その練習。

- ・ わからない入力方法や操作方法についての対処（奥田：大阪私学ネット）
（担）「友達と相談してもよい」という考え方なので、自由に作業できる雰囲気大切にしている。
- ・ コピー&ペーストによる絶対参照についての理解。（鈴木：同志社高）
（担）オートフィルでどのあたりまで入力を簡略させるかを考慮して。
- ・ 評価について（清田：立命館高）
（担）実技テストと課題で評価。エクセルでは筆記テストは実施しない。
- ・ 家庭科との連携は？（吉岡：同志社高）
（担）ここまでの理解だと、表計算のメリットを有効に利用できないかもしれない。今回は「楽しいデータ分析」が目的。
- ・ 教材を工夫して興味を。例えば、阪神選手の背番号を入力すれば名前や打率が出てくるようなものに。（鈴木：同志社高）
（担）自分の役に立つ教材を利用したい。食生活を見直すきっかけとなった。

(3) 各校より表計算ソフトの取り組みの状況報告

- 文書作成、表計算、プレゼンテーション、Web 制作について、すべて基本的な内容のみ。文書作成の場合、文字入力よりも見栄えのよいものにする配慮。プレゼンの内容をもとに、Web を作成など。（山本：大谷高）
- 文書作成、プレゼンテーション中心。表計算はやや固いイメージなので控えている。FLASH でパズルの制作。プレゼンでは自校の良さをまとめパンフレットを作成し、学校説明会等で利用。ファイヤーワークス、ドリームウェバーなどを FLASH とリンクして利用。（本田：立命館宇治高）
- ワード、エクセル。エクセルは手入力を利用し、ウィザードは最後に教える程度。（上田：同志社女子中高）
- 他教科との融合授業。授業の進め方として、結果を見せることにより感動を与えた上で作業に。研究授業について、個人個人の結果に変化があり、今回の題材はおもしろかった。（瀧内：東山高）
- グループ学習、日常に直結した題材の授業へのとり入れ。（大阪私学ネット）
- 小学生向け Web 教材を作成し、小学生へパワーポイントで紹介。（清田：立命館高）
- （鈴木：同志社高）他教科のニーズに応じて教材を選択。
- 表計算のメリットをどのように伝えるか。将来を考えると授業内容はもっとハイレベルの必要があるのではないか。（**：平安高）
- 生徒が食いつくテーマとネタ探し。研究授業について、プリント配布ではなく、学習内容をメモとしてとらせることは大切。（増田：平安高）
- 自校をパワーポイントでアピール。アンケートをワードで作成し、エクセルで集計、派環ポイントで発表。研究授業について、エラーメッセージが出て生徒は落ち着いて対応している様子が伺えた。（大橋：文教高）
- エクセルでドット絵を作業させる中で、エクセルの操作になじませる。（山本：華頂高）
- デザインの授業も実施。（酒井：華頂高）
- 実践に使えるエクセルの内容とは（瀧内：東山高）
- 教科書の内容では役に立たない。（吉岡：同志社中高）
- データの利用、作品の見栄えも大切。（増田：平安中高）

○第 2 部 生徒作品発表会

（同志社女子高）

JAVA を利用して描画。サンプルで練習し JAVA に慣れる。評価ポイントを設定し作成。

（同志社高）

スタイルシートの利用。作品の相互評価。

(立命館高)

小学生向け教材とビデオ CM コンテスト(3~4名/グループ)。公共広告 CM。

(龍谷大附属平安高)

素材サイト(足成:モデルリリース取得済みの素材を提供)を利用した作品。情報モラルの学習を兼ねて。

(華頂女子高)

チーム学習。ある女性の人生についてまとめ、プレゼン。企業とのコラボによる商品開発。学校のことを調べ冊子に。

(京都橘高)

選択授業で、FLASH アクションスクリプトを利用してゲーム作成。

(東山高)

コンピュータからはなれた作業。あえて不便な作業を実施。パソコンではなく、手作業による壁新聞の作成など。

<その他> 次年度の冬の公開授業は平安高校に決定。

○閉会あいさつ 龍谷大学附属平安中学高等学校 野口正則先生

議事内容：

司会 (酒井) ※敬称略

1. 開会挨拶 野口 (龍谷大学附属平安中学高等学校)
2. 公開授業 長谷川 (京都橘中学校高等学校)
3. 質疑応答
4. 休憩
5. 生徒作品発表会
6. 閉会挨拶 野口 (龍谷大学附属平安中学高等学校)

2010年度 生徒作品発表会資料

【龍谷大附属平安高】

素材サイト(足成:モデルリリース取得済みの素材を提供)を利用した作品。情報モラルの学習を兼ねて。

□情報モラル啓蒙ポスター作り

龍谷大学付属平安中学高等学校 増田純一

プログレスコースでは「相手に自分の意見、考え、思いをいかに伝えるか」を年間を通じてのテーマにおいて授業を行いました。ポスター作りには、ぱっと見ただけで意図が伝わる工夫が必要となるので、デザインや文字のレイアウト、配色、テーマにあった写真選びなどが生徒への課題となりました。

また、年度のはじめの時期に行った情報モラルの授業内容をもう一度夏休みに入る直前にポスター作りを通じて振り返り、意識を高めようという狙いもありました。そのため、単に課題を「情報モラル啓蒙ポスター」とするだけでなく、素材サイト「写真素材 足成」を利用し、著作権、肖像権、パブリシティ権にも触れながら振り返り学習を兼ねて行いました。

「写真素材 足成」は、プロカメラマンではなく、アマチュアカメラマンが撮影した写真を、写真素材として無料で提供しているサイトです。そのためか、鮮明に顔の判別ができるような写真も含まれており、写真選びは注意が必要です。その点をあえて取り上げることで、肖像権について学習出来ました。また、この「写真素材 足成」では、人物写真の Kategorie にて被写体から使用の同意を得た写真に「モデルリリース取得済み」アイコンが付いており、顔を露出した人物写真の利用ができる面白い特徴があります。また、個人、商用を問わず全て無料で利用でき、クレジットやリンクの表記、ユーザー登録が不要なので情報だけでなく他の授業、教材などでも利用しやすいかと思えます。



素材サイト「写真素材 足成」

<http://www.ashinari.com/>



人物写真の取り扱い説明ページ



モデルリリース取得済みのアイコン

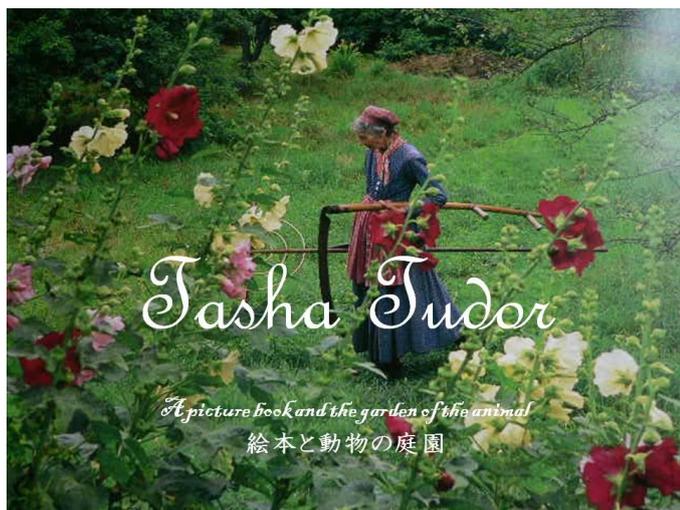
【華頂女子】チーム学習。ある女性の人生についてまとめ、プレゼン。

<p>現代最高のバレリーナ 発表日 6月3日 6/3 09:00-11:30 M: 1F 2F 3F 4F</p>	<p>オーグストハッピーバム チーム名 幸福がーるす 場所 視聴覚教室 発表日 6月3日</p>	<p>When I am the most happy day 今が一番楽しいとき 駒井家 発表日 6/3 場所 視聴覚教室</p>	<p>アウンサン スーチー チーム名 ciao 発表日 6月3日 場所 視聴覚教室</p>	<p>守野千代 泥棒と殺人以外 何でもやったわ チーム名 蝶々 発表日 6月3日 場所 視聴覚教室</p>
<p>魂のピアニスト Tuyiko hemming その音はきつと 魂のこぼれを伝える 6月3日 Road Show 視聴覚教室</p>	<p>森 光子 チーム名 字解 発表日 (6月3日) 場所 視聴覚教室 10歳にも聞かれない 言葉に想像活動もされています。 CM、再台なども 体験されています。</p>	<p>Audrey Hepburn 06/03 shityoukaku</p>	<p>フジ子・ヘミング 間違えたくない 機械じゃないんがからい</p>	



3年クリエイティブコース
Web & プレゼンテーション公開授業
「そう、こんな人生もあるんだ」
-ロールモデルの人生を描く“人間”ドキュメンタリー-

2010年6月3日 09時 00分 ~ 11時 30分 視聴覚教室



挿絵画家・絵本画家・園芸家
1915年8月28日
マサチューセッツ州に生まれる。

1938年に
「パンプキン・ムーブシャイン」を
出版して以来、
80冊以上の本を出版。
午後四時半、庭先のポーチで
お茶を飲むのが日課



ターシャの庭はひいおばあさんから受け継ぎ
そして毎日手入れを怠ることなく、
たった一人の力で
何万坪の庭を創り上げたのです。

バラが大好きなターシャは、中でも古代理種のバラの匂いが素晴らしいのでとても気に入っているそうです。
「庭仕事は体が疲れても心が満たされる」
「ただ好きな花をそこらじゅうに植えただけ」



「ウェルシュ・コーギーほど素晴らしい犬はいません。美しさの点ではだれにもかないませし、私のコーギーはエリザベス女王が飼ってるコーギーと父親が一緒なんです。

毎日健康で楽しい生活を送り長生きできるのも、たくさんのコーギーや小動物達と暮らしているからかもしれません。



楽しみは創り出せるのよ

幸せとは、心の持ち方の事よ

思うとおりに歩めばいいのよ

今が一番いい時よ

庭仕事は体が疲れても心が満たされる

人生は短いよ、好きな事をしなくちゃ



スローライフ 自給自足の生活

ターシャはアメリカのバーモント州の山奥に、18世紀風の家を建て、何万坪の広大な土地に花の咲き誇る素敵な庭を創り出しました。

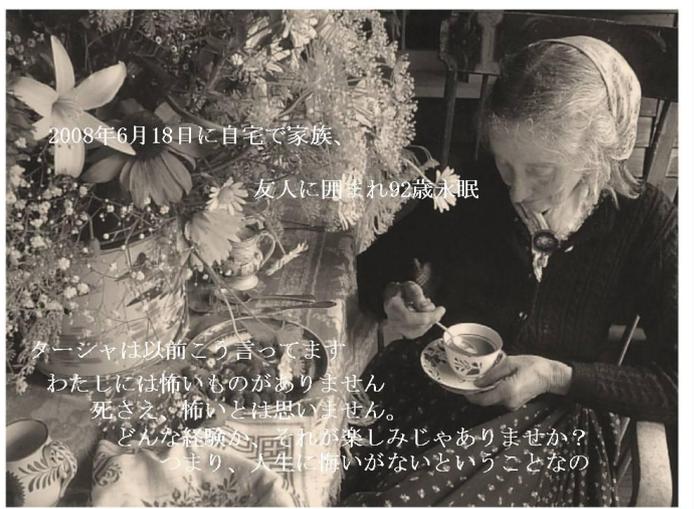
90歳になっても創造力の泉は枯れることなくターシャの言葉はひとつひとつに輝きとぬくもりが感じられます



Pumpkin moonshine



コーギビル シリーズ



2008年6月18日に自宅で家族、友人に囲まれ92歳永眠

ターシャは以前こう言ってます
わたしには怖いものはありません
死さえ、怖いとは思いません。
どんな経験か、それが楽しみじゃありませんか？
つまり、人生に悔いがないということなの

【京都橘高】

選択授業で、FLASH アクションスクリプトを利用してゲーム作成。

タイトル画面・説明画面・ゲーム画面・終了画面を必ず設けるようにしている。見せるコンテンツではなく、使うコンテンツをユーザーの立場に立って作成することがポイント。

左上のゲームは、キーパーの動きを矢印キーで操作。ペナルティーキックのボールをセーブすれば勝ち。生徒は多様なゲームを企画する。それに対してどのように指導するか、教える側の手腕が問われる。



4. 京都府私立中学高等学校一覧と情報科学研究会会員名簿

学校	氏名	教科	役割など
一燈園中学高等学校 607-8025 京都市山科区四ノ宮柳山町 29-13 TEL 075-595-3711 FAX 075-595-6764			
大谷中学高等学校 605-0965 京都市東山区今熊野池田町 12 TEL 075-541-1312 FAX 075-541-7627	山本 昌彦	理科・情報	教諭
華頂女子中学高等学校 605-0062 京都市東山区林下町 3 丁目 456 TEL 075-541-0391 FAX 075-541-5962	酒井 知果	情報	主任
京都外大西高等学校 615-0074 京都市右京区山ノ内苗町 37 TEL 075-321-0712 FAX 075-322-7733	岩澤 健二	情報	情報科主任
	田中 成幸	事務	助手
京都学園中学高等学校 616-8036 京都市右京区花園寺ノ中町 8 TEL 075-461-5105 FAX 075-461-5138	木村 恒隆	情報・商業	教諭
	藤井 敬也	情報	教諭
	山崎 俊幸	情報	教諭
	大西 庸平	情報	常勤講師
	高木 清正	技術家庭	教諭
京都精華女子中学高等学校 606-8305 京都市左京区吉田河原町 5-1 TEL 075-771-4181 FAX 075-761-5238			
京都共栄学園中学高等学校 620-0933 福知山市篠尾 62-5 TEL 0773-22-6241 FAX 0773-22-0968			
京都暁星高等学校 626-0065 宮津市獅子崎 30 TEL 0772-22-2560 FAX 0772-22-5902	高畑 祐輔	情報・地歴公民	情報科主任
	長谷川 誠	情報	教諭
京都芸術高等学校 611-0011 宇治市五ヶ庄西浦 6 番地 2 TEL 0774-32-7012 FAX 0774-33-3698			
京都光華中学高等学校 615-0861 京都市右京区西京極野田町 39 TEL 075-325-5223 FAX 075-311-6103	近本 浩司	情報・理科	教員
	中井 治彦	情報・数学	教員
	藤本 堂之	数学・情報	教員
	筒井 数也	理科	教員
	石田 誠	理科	教員
	中川 晃	情報・技術	講師

京都産業大学附属中学高等学校 602-0898 京都市上京区相国寺門前町 TEL 075-212-5610 FAX 075-256-6166			
京都翔英高等学校 611-0013 宇治市菟道大垣内 33-10 TEL 0774-23-2238 FAX 0774-23-9088			
京都女子中学高等学校 605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 17 TEL 075-531-7358 FAX 075-531-7377	成瀬 浩健	数学・情報	教諭
京都聖カタリナ高等学校 622-0002 南丹市園部町美園町 1-78 TEL 0771-62-0163 FAX 0771-63-0989	鈴木 勝之	情報	教員
	坂口 拓也	情報	講師
京都成章高等学校 610-1106 京都市西京区大枝沓掛町 26 TEL 075-332-4830 FAX 075-331-0827			
京都橘中学校・高等学校 612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀 50 TEL 075-623-0066 FAX 075-601-2125	長谷川 卓也	情報	教員
	山本 浩史	情報	講師
	上田 英樹	情報	助手
京都西山高等学校 617-0002 向日市寺戸町西野辺 25 TEL 075-934-2480 FAX 075-931-4079	浅田 富夫	情報	主任
	山内 政秀	情報	教諭
	土屋 貴孝	情報	常勤講師
	伊藤 靖子	情報	助手
京都文教中学高等学校 606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 5 TEL 075-711-6155 FAX 075-752-6808	大橋 俊光	情報・数学	教員
	奥村 有希	情報・数学	教員
京都美山高等学校 601-0705 南丹市美山町大字佐々里小字村下 6 TEL 075-441-3401 FAX 075-441-3402	田宮 路也		教員
京都明德高等学校 610-1111 京都市西京区大枝東長町 3-8 TEL 075-331-3361 FAX 075-331-8088			
京都両洋高等学校 604-8851 京都市中京区壬生上大竹町 13 TEL 075-841-2025 FAX 075-841-0178			

聖母学院中学高等学校 612-0878 京都市伏見区深草田谷町 1 TEL 075-645-8103 FAX 075-641-0805			
同志社中学校・高等学校 606-8558 京都市左京区岩倉大鷲町 89 TEL 075-781-7121 FAX 075-781-7124	鈴木 潤	情報	教員
	沼田 和也	技術	教員
	吉岡 芙紗子	情報・家庭科	講師
同志社国際中学高等学校 610-0321 京田辺市多々羅都谷 60-1 TEL 0774-65-8911 FAX 0774-65-8990			
同志社女子中学高等学校 602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入 TEL 075-251-4305 FAX 075-251-4308	上田 祐一郎	情報	教員
日星高等学校 624-0913 舞鶴市上安久 381 TEL 0773-75-0452 FAX 0773-75-0860	金山 友則	情報	教員
	林 邦夫	理科・数学・情報	教員
ノートルダム女学院中学高等学校 606-8423 京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町 110 TEL 075-771-0570 FAX 075-752-1087			
花園中学高等学校 616-8034 京都市右京区花園木辻北町 1 TEL 075-463-5221 FAX 075-464-9469			
東山中学高等学校 606-8445 京都市左京区永観堂町 51 TEL 075-771-9121 FAX 075-771-7217	瀧内 義弘	理科・情報	教員
	田原 征典	情報	講師
	原田 千佳子		助手
福知山淑徳高等学校 620-0936 福知山市正明寺 36-10 TEL 0773-22-3763 FAX 0773-23-5519			
福知山女子高等学校 620-0886 福知山市堀 3385 TEL 0773-22-6227 FAX 0773-22-4373			
福知山成美高等学校 620-0876 福知山市水内 3471-1 TEL 0773-22-6224 FAX 0773-24-5416			

平安女学院中学高等学校 602-8013 京都市下京区下立売通烏丸西入ル五町目町 172-2 TEL 075-414-8111 FAX 075-414-8119			
南京都高等学校 619-0245 相楽郡精華町下狛中垣内 48 TEL 0774-93-0518 FAX 0774-93-2266			
洛星中学高等学校 603-8342 京都市北区小松原南町 33 TEL 075-466-0001 FAX 075-466-0777			
洛南高等学校 601-8478 京都市南区壬生通八条下る東寺町 559 TEL 075-681-6511 FAX 075-671-2317			
洛陽総合高等学校 604-8453 京都市中京区西ノ京春日町 8 TEL 075-802-0394 FAX 075-822-0472			
立命館中学高等学校 612-0884 京都市伏見区深草西出山町 23 TEL 075-645-1051 FAX 075-645-1070	清田 祥一郎	情報	教員
	小林 誠	情報	教員
	森本 岳	情報	教員
	新井 香織	情報	助手
	石指 裕子	情報	助手
	西浦 慎吾	情報	助手
	武藤 一奈	情報	助手
	文田 明良	数学・情報	副校長
立命館宇治中学高等学校 611-0031 宇治市広野町八軒屋谷 33 番 1 TEL 0774-41-3000 FAX 0774-41-3555	三宅 進一	情報	教員
	寺本 英司	情報	教員
	大石 隆久	情報	教員
	音田 康平	情報	教員
	小曾根 潮	技術家庭	教員
	矢守 まさみ		情報助手
	江口 紀子		情報助手
	小谷 馨		情報助手
龍谷大学付属平安中学高等学校 600-8267 京都市下京区大宮通七条上ル御器屋町 30 TEL 075-361-4231 FAX 075-371-1793	松田 博一	情報	主任
	吉岡 幸司	情報	教諭
	増田 純一	情報	講師
	ゴ トモカズ	情報	講師
	野口 正則	情報	教頭

5. 情報科研究会常任委員会委員および役割

役職名	氏名	所属・学校名
顧問	西之園 晴夫	NPO法人学習開発研究所
委員長	野口 正則	龍谷大学付属平安中学・高等学校
副委員長	三宅 進一	立命館宇治中学校・高等学校
常任委員	清田 祥一郎	立命館中学校・高等学校
	鈴木 潤	同志社高等学校
	山本 昌彦	大谷中・高等学校
	増田 純一	龍谷大学付属平安中学・高等学校
庶務・事務局担当	長谷川 卓也	京都橘高等学校
会計担当	酒井 知果	華頂女子中学高等学校
会計監査	瀧内 義弘	東山中学・高等学校

6. 2010 年度情報科研究会予算と決算

(1) 事業計画と収支計画 (予算)

番号	研修会の名称	研修実施 年月日	開催場 所	参加者の範 囲・人数等	研修のテーマ・内容・講師氏名等	事業 費
1	常任委員会	4/2 (金)	立命館	8 名程度	事業計画 総会の準備	0
1	通常総会	5/7 (金)	龍谷平 安	20 名	〈内容〉 事業計画と収支計画の確認 常任委員の追加募集 各校の授業概要についての情報交 換	6,000
2	常任委員会	6/4 (金)	龍谷平 安	8 名程度	夏期研究会の準備	0
2	夏期研究会	7/5 (月)	同志社	40 名	〈テーマ〉 情報教育における携帯、 ゲーム機等の活用 〈内容〉 講演及びパネルディスカッ ション 〈講師〉 須磨学園高等学校より	36,000
3	常任委員会	9 月下旬	龍谷平 安	8 名程度	秋期研究会の準備	0
3	秋期研究会	10/24 (日)	外大西	40 名	私立中学高等学校教育研究大会の情 報科分科会として実施 〈テーマ〉 コンピュータ環境に依存 しない情報教育 〈内容〉 教員による実践研究発表・ 講師講演・ディスカッション 〈講師〉 西之園晴夫氏	36,000
4	常任委員会	12 月中旬	龍谷平 安	8 名程度	冬期研究会の準備	0
4	冬期研究会	1/21 (金)	京都橘	35 名	〈内容〉 授業の実践報告 (公開授業) と作品・成果物発表会 各校の授業での作品・成果物 (印刷 物、デジタルデータ等) を持ち寄り 発表する。	17,000
5	常任委員会	3 月上旬	龍谷平 安	8 名程度	年度のまとめ 記録集作成	0
5	Web サイトの運 用	常時		60 名	総会・研究会の外部広報と成果発表 (昨年度は予算の関係で、Web サイト の運用ができず、広報が不十分)	15,000
6	記録集作成	3 月中旬		140 部	〈内容〉 年度の活動報告	30,000
	計					140,000

(2) 2010 年度決算報告

1) 2010 年度 情報科研究会 事業報告完了書 (京都府私立中学高等学校連合会へ提出)

収入の部

私立中高連合会
110,000

支出の部

番号	研修会の名称	研修実施 年月日	開催場所	参加者の 範囲・人数 等	研修のテーマ・内容・講師氏名等	事業費
1	通常総会	2010/5/8	平安	20 名	事業計画と収支計画の確認 常任委員の追加募集 各校の授業概要についての情報交換	2,960
2	夏期研究会	2010/7/5	同志社	36 名	テーマ:「制携帯の取組みを通して」 講師:宮浦修造氏 (須磨学園中高) テーマ:「iPad 活用の可能性と教室 利用の提案」 アップルジャパン株式会社エデュ ケーション本部	30,000
3	私立中学高等学 校教育研究大会 の情報科分科会 (秋期研究会)	2010/10/24	京都外大西	23 名	テーマ:「コンピュータを使わない 情報教育 アンプラグドコンピュ ータサイエンス」 講師:兼宗進氏	30,000
4	冬期研究会	2011/1/28	京都橘	34 名	テーマ:「情報 A 表計算ソフトに よるデータ分析」 各学校授業紹介ほか	0
5	情報科研究会冊 子	2011/3/30		130 部	総会・研究会の案内と報告	47,040
※ 私情研として予算 14 万円を要求していたが、連合会第 1 回委員長会議 (5 月 29 日) において、11 万円の額で配分 された。					合計	110,000
					差額	0

2) 情報科研究会 会員収入 (2009 年度繰り越し分)

月	日	項目	費目	収入額	支出額	差引残高
4	1	情報科研究会会員費		7,283		7,283
3	31	情報科研究会冊子	冊子作成		7,283	0
			計	7,283	7,283	0

※ 会員収入は、入会校 21 校により 21000 円を計上 (@1000×21)。昨年度記録集参照。

※ 2010 年度から会員費を徴収していません。

7. 2011 年度情報科研究会事業計画（予算）

番号	研修会の名称	研修実施 (予定)	開催場所 (予定)	参加予定 者の範 囲・人数 印刷予定 部数	研修のテーマ・内 容・講師氏名等	事業費 (円)
1	常任委員会	2011 年 4 月	平安	6 名	総会の準備	1,500
2	通常総会	11 年 5 月中 旬	同志社国際	30 名	①規約 ②事業計画 収支計画 ③その他（各校の授業 計画書）	6,000
3	常任委員会	2011 年 6 月	平安	9 名	夏期研究会の準備	1,500
4	夏期研究会	11 年 7 月上 旬	大谷	30 名	テーマ：「未定」 講師： 未定	36,000
5	常任委員会	2011 年 9 月	平安	9 名	秋期研究会の準備	1,500
6	秋期研究会	11 年 10 月	同志社	20 名	私立中学高等学校教育 研究大会の分科会とし て実施 テーマ：「未定」 講師： 未定	36,000
7	常任委員会	2011 年 12 月	平安	9 名	冬期研究会の準備	1500
8	冬期研究会	12 年 1 月下 旬	平安	20 名	情報授業公開授業・各 学校成果物発表	17,000
9	会誌の発行	2012 年 3 月	平安	30 部	総会・研究会のまとめ	24,000
10	Web サイトの運用	常時			総会・研究会の案内と 報告	15,000
					合計	140,000

8. 京都府私立中学高等学校情報科研究会規約

京都府私立中学高等学校情報科研究会規約

平成 21 年 4 月 1 日

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 本会の名称は、京都府私立中学高等学校情報科研究会とする。

(事務所)

第 2 条 本会の事務所の所在地は、常任委員会で決定する。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 本会は、情報科教育の研究ならびに振興を図り、併せて会員相互の親和向上を図ることを目的とする。

(事業)

第 4 条 本会は前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1)研究会、講演会、発表会などの開催
- (2)情報科教育の研究のための情報収集
- (3)成果物の蓄積と発信
- (4)関係団体との連携、協力
- (5)その他、前条の目的を達するために必要と認められた事業

第 3 章 会員

(資格)

第 5 条 本会の入会資格は、京都府の私立中学高等学校が持つ。

(入会)

第 6 条 本会に入会しようとする学校は、別に定める入会申込書により、委員長に申し込むものとする。

(会費)

第 7 条 会員は、別に定める細則にしたがい会費を納入しなければならない。

第 4 章 役員等

(役員等の種別及び定数)

第 8 条 本会に次の役員を置く。

- (1)委員長 1 名
- (2)副委員長 1 名
- (3)庶務 1 名
- (4)会計 1 名
- (5)常任委員 若干名
- (6)監事 1 名

2. 本会は顧問を若干名置くことができる。

(選任等)

第 9 条 役員は、総会で会員校の教職員の中から選出する。

2. 監事は、他の役員等を兼ねることができない。

3. 顧問は、常任委員会が推薦し、総会で承認する。

(職務)

第 10 条 委員長は、本会を代表し、その業務を統括する。

2. 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたときはその職務を代行する。
3. 庶務は、本会の事務等を行う。
4. 会計は、資産の状況を記録し、総会で報告を行う。
5. 監事は、次の職務を行う。

(1) 常任委員会の業務執行の状況を監査すること

(2) 本会の財産の状況を監査すること

(3) 監査の結果、重大な不正事実を発見した場合は総会等に報告すること

6. 顧問は、本会の活動に対し適宜助言することができる。

(任期等)

第 11 条 役員任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。

2. 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期末日後の最初の総会が終了するまで、その任期を延長する。

3. 補欠のため、途中就任した役員任期は、前任者の任期の残存期間とする。

(欠員補充)

第 12 条 任期途中で役員に欠員が生じた場合は、これを補充することができる。

2. 前項における役員選出は常任委員会が行う。

(費用の支弁)

第 13 条 役員には、その職務を執行するために要した費用を支給することができる。

第 5 章 総会

(種別)

第 14 条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の 2 種とする。

(構成)

第 15 条 総会は、会員校の教職員が参加し質問意見を述べることができる。

2. 会員校は 1 票の議決権を持つ。

(権能)

第 16 条 総会は、以下の事項について議決する。

(1) 規約の変更

(2) 事業計画及び収支予算並びにその変更

(3) 事業報告及び収支決算

(4) 役員選任又は解任

(5) その他運営に関する重要事項

(開催)

第 17 条 通常総会は、毎年 1 回開催する。

2. 臨時総会は、常任委員会が必要と認めるときに開催する。

(招集)

第 18 条 総会は、委員長が招集する。

2. 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面等により、事前に通知しなければならない。

(議長)

第 19 条 総会の議長は、その総会において、出席した会員校の教職員の中から選出する。

(議決)

第 20 条 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(表決権等)

第 21 条 会員の表決権は、平等なるものとする。

2. やむを得ない理由のため総会に出席できない会員は、書面等をもって表決を委任することができる。

3. 前項の規定により表決した会員は、総会に出席したものと見なす。

(議事録)

第 22 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成する。

(1)日時及び場所

(2)会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合については、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

第 6 章 常任委員会

(構成)

第 23 条 常任委員会は、委員長、副委員長、庶務、会計及び常任委員をもって構成する。

(招集)

第 24 条 常任委員会は、委員長が招集する。

2. 常任委員会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面等をもって、事前に通知しなければならない。

(議決)

第 25 条 常任委員会の議事は、常任委員会総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第 26 条 各常任委員の表決権は、平等なものとする。

2. やむを得ない理由のため出席できない常任委員は、書面等をもって表決を委任することができる。

3. 前項の規定により表決した常任委員については、常任委員会に出席したものと見なす。

第 7 章 資産及び会計

(資産の構成)

第 27 条 本会の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

(1)会費

(2)補助金

(3)寄付金品

(4)財産から生じる収入

(5)その他の収入

(資産の管理)

第 28 条 本会の資産は、委員長が管理する。

(会計業務)

第 29 条 会計業務は、会計がその任にあたる。

(事業計画及び予算)

第 30 条 本会の事業計画及びこれに伴う収支予算は、委員長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第 31 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、委員長は、常任委員会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に順じ収入支出することができる。

2. 前項の収入支出は、新たに成立した予算に収入支出と見なす。

(予算の追加及び変更)

第 32 条 予算作成後にやむを得ない事由が生じたときは、常任委員会の議決を経て、既定予算の追加又は変更することができる。

(事業報告及び決算)

第 33 条 本会の事業報告書、収支計算書等の決算に関する書類は、毎事業年終了後、速やかに、委員長

が作成し、監事の検査を受け、総会の議決を経なければならない。

2. 決算上余剰金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第34条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第8章 規約の変更

(規約の変更)

第35条 本会が規約の変更しようとするときは、総会に出席した会員の3分の2以上の議決を経なければならない。

第9章 雑則

(細則)

第36条 本規約に施行において必要な細則は、常任委員会の議決を経て、委員長がこれを定める。

(文書等の定義)

第37条 本規約における「文書等」はFAX、電子メールを含むものとする。

附則

(施行日)

附則1. 本規約は、本会の成立の日から施行する。

(設立年度の措置)

附則2. 設立年度の措置について、別に定める。

京都府私立中学高等学校情報科研究会

2010 年度活動記録集（第 2 号）

2011 年 3 月 31 日 発行

発行：京都府私立中学高等学校連合会情報科研究会（私情研）